

お口の

健康情報室

年齢が進むにつれ、生活習慣病などで薬を常用する人は増えていきます。歯科治療を安全に行うため、全身の健康状態や、飲んでいる薬についての情報が重要となります。今回は、特に歯科治療に影響を及ぼす恐れのある薬について紹介します。

まず、「血液をサラサラにする薬」ともいわれる「抗凝固剤」です。抜歯などの処置の際には、止血が難しくなる可能性があります。処方医と連携し、必要に応じて止血の

服薬情報 漏れなく伝えて

準備をして治療に臨まなくてはなりません。

次に、骨密度を保つための薬「ビスホスホネート製剤」です。骨粗しょう症に対して優れた作用がある薬ですが、まれに口腔内の局所感染などが原因となり、顎の骨の壊死を引き起こすことがあります。抜歯後、傷が治癒するまでの間、消毒と経過観察が必要です。

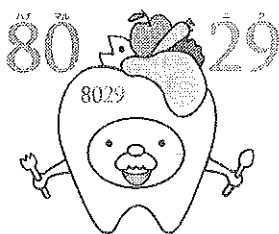
最後に、血圧を下げる薬の一つである「血管拡張薬」です。副作用として、歯肉が異常に増殖する「薬剤性歯肉増殖症」が起る可能性があります。歯周病の潜在的リスクとなります。口腔内を清潔に保つことが大切なため、歯科医院で

口腔衛生指導や口腔ケアを受けるようにしてください。

このほかにも、歯科治療をする上で注意が必要な薬はたくさんあります。歯科治療を安全で安心に行うため、来院の際にはお薬手帳などの服薬情報を持参し、漏れなくお伝えください。

(県歯科医師会)

健康長寿の合言葉！！



「8029運動」PRキ
ャラクター もぐい